



日本家庭科教育学会 第66回大会

2023年6月30日(金)～7月2日(日)オンライン開催

研究発表 7月1日(土)午前, 7月2日(日)午前

総会 7月1日(土)午後

講演・シンポジウム 7月1日(土)午後

「家庭科における〈知〉とは何か—Home Economics Literacy概念を再考する—」

座談会・ラウンドテーブル 7月2日(日)午後

「家庭科誕生75年(3/4世紀)—家庭科のこれまでとこれから—」

非会員の皆様へ

日本家庭科教育学会第66回大会のうちラウンドテーブルを Youtube ライブ

配信にて**無料**でご視聴頂けます。どうぞご参加下さい。

日時: 2023年7月2日(日)15:00-16:30

テーマ: ラウンドテーブル※「九州から元気を」実践報告

RT1 離島・小規模校の家庭科—学校間, 校種間の連携と ICT 活用に向けて—

RT2 これからの生きる力と家庭科

RT3 家庭科教員のネットワーク作り

※テーマに関心のある人同士, 立場や所属を超え自由に意見交流できる場です。今回は, 実践報告と学会員の意見交流の様子を公開します。RT1~3の趣旨等は, 次頁をご覧ください。

お申込み: 右の QR コードまたはフォーム <https://forms.office.com/r/qT2S63v7Yy>

より登録下さい。登録後に表示される動画配信情報 URL を保存し, 6月末にアクセス下さい。申込み〆切 6月28日(水)12:00



<ご案内>

第66回大会では, ラウンドテーブルの他にも研究発表, シンポジウム, 座談会等を企画しています。別途, 大会参加登録し, 参加費をお支払いされましたら, これらのプログラムにもご参加頂けます。大会サイト: <https://confit.atlas.jp/guide/event/jahee66/top>

ラウンドテーブル「九州から元気を」実践報告

RT1 離島・小規模校の家庭科－学校間、校種間の連携と ICT 活用に向けて－

九州には、離島が多く、小規模校の割合が高い状況が見受けられる。このことは九州に限らず、今後、どの都道府県でも起こりうる可能性があり、小中一貫教育への対応や、臨時免許状・免許外教科担任の増加など、全ての学校で抱えている家庭科教育の課題解決に、結びつけることができる。学校間、校種間の連携と ICT 活用に向けて、フロアからの意見も交えて現状を把握し、可能性を探っていきたい。

報告者 古賀 絢香 氏(佐賀県みやき町立中原小学校)
南 香乃子 氏(鹿児島市立福平中学校)
青谷 有美代 氏(鹿児島県立種子島中央高等学校)
コーディネーター 伊波 富久美 氏(宮崎大学)

RT2 これからの生きる力と家庭科

変化の激しく複雑化・多様化する現代社会を生きる上では、予測できない出来事や未知の状況に直面することもある。そうした時代を生きる子どもたちに必要とされるのはどのような資質・能力なのだろうか。本ラウンドテーブルでは、報告者のこれまでの経験や授業実践をもとに、家庭科を通して育成を目指す「これからの生きる力」について意見交換を行い、学校教育における家庭科の意義や可能性を見出していく。

報告者 安永 あゆ香 氏(長崎大学教育学部附属小学校)
岩谷 千晴 氏(琉球大学教育学部附属中学校)
山口 麻衣子 氏(宮崎県 美郷町立美郷北義務教育学校)
西島 美加 氏(福岡県立直方特別支援学校)
コーディネーター 土屋 善和 氏(琉球大学)

RT3 家庭科教員のネットワーク作り

地域、学校によっては家庭科の教員の配置が少ない中、授業等に関する蓄積された情報とノウハウの共有、後継に課題を抱えている。そこで、本ラウンドテーブルは教員のサポートを目的にした情報発信・ネットワーク作りに関する事例を紹介する。事例および参加者の皆様との交流を踏まえ、これからの時代における情報発信や教員間のネットワーク作りの方策と課題について検討することを目的とする。

報告者 加藤 敦子 氏(福岡県立戸畑高等学校)
岩下 紀子 氏(尚絅大学短期大学部)
財津 庸子 氏(大分大学)・都甲 由紀子 氏(大分大学)
コーディネーター 兼安 章子 氏(福岡教育大学)

日本家庭科教育学会では活動報告や研究成果を公表し、随時会員を募集しています。

この機にぜひ学会ホームページをご覧ください。 <https://www.jahee.jp/>